



▲左から、八村会長、山田さん、福嶋さん、石破議員、名誉会員の池田さん



▲桑田宗百さん(左)とお茶人仲間たち



▲左から、近藤さん、女流アスリートの小倉さん、金子副会長



▲「人生に乾杯を」を歌う奥田さん



▲挨拶する平井知事

「総会と懇親の集い」パツリ！ スナップショット集 (カメラ/事務局)



▲池田名誉会員



▲司会の上田さん



▲会場の全景



▲女性ファンに囲まれた石破議員



▲左から、稲田屋梅原社長、梅原専務、福山大阪鳥取県人会会長、永井さん、遠藤さん



▲松葉ガニを当てて喜ぶ来間さん

◎鳥取県人会副会長 就任にあたっての御挨拶



先日の9月9日の総会に於いて、小島順一郎さんの後任として、副会長職をお引き受けしました。倉吉市出身の萬治隆生です。東京から遠く離れた鳥取県は、交通や情報手段の発達と共に、距離の垣根は克服され、地方色は徐々に薄れつつある状況下、逆に色々な面で差別化が求められていると思っております。

会員からのお便り (敬称略 順不同)

西尾 邑次

（元鳥取県知事）（鳥取市）
ご案内いただきましたが、難聴そして腰痛のため、体力が弱くなり東京することが出来ません。それでも好きな花作りは毎日の楽しみのお仕事です。皆様によりしくお伝え下さい。ご盛会をお祈りいたします。

藤縄 健一

（尾崎鳥取県人会 会長）
今年もお誘いのご案内を頂き有難うございます。当日は都合が悪く欠席させて頂き、ご盛会を祈念致します。

足立 健

（姫路鳥取県人会 会長）
今般、貴会「総会と懇親会の集い」にご案内頂戴致しました。誠に恐縮の至り、有がとうございました。折角のご案内ですが、何かと多事・多用、その上年齢が高齢が、何れに致しても東京は肉体的に致しません。甚だ勝手、意を尽くしませんが欠席させて頂

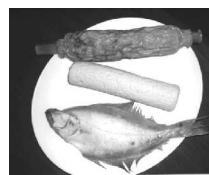
■とっとりゆかりの食 (5)

久米澤喜一郎さん

（鳥取市南町出身）
どうふちくわと
かれいの子まぶし



先頃の県人会総会と懇親会の席で筆者の右隣りに座られていたのが久米澤さんで、翌日、約束通りつづけて、下北沢の喫茶店でインタビューを果たしました。



▲上から、あごちくわ、どうふちくわ、かれい

代々が青果物の問屋です。私の代で途切れてしまつたのは、先程申しあげたように、やっぱり果物の味覚ですか。そう、昔、三輪トラックで父親に連れられて、一緒に鳥取砂丘の奥の方まで二十世紀梨とか柿とか、朝のセリに出すための仕入れをしに廻つたの思い出を思い出します。その時食べた果物の味は忘れません。小学校の給食が脱脂粉乳の世代ですから、大人になつても、食べ物へのこだわりはあまり無いですね。でも、あえて故郷の味といえ、松葉ガニは高価ですから別格として、ご紹介させていただく。これを丸かじりにするのが、贅沢なおやつでした。今でも帰郷した時の土産はこれなんです。特にとりあえずわが大好きですね。荒木又右衛門の墓で「旧家というつしる。」「古いという意味ではね。池田藩が岡山からお国がえになった時久米澤家も一緒に鳥取に來たと言ひ伝えられています。どうふちくわが一番好きです。」

90歳の悲哀



今年から方針を変えた。自分が、90歳をすぎたことを、多少自慢をしていたが、今、心から自己反省しきり考えてみると、逆に恥ずかし

（浜江 晋 91歳、鳥取市青谷町出身、東京都日野市在住）

いことだ。何故なれば、何の実力もなく、勿論、財力地位もない自分が単に生きながらえているだけではないかと、相手によっては、侮蔑感さを持つかもしれない。この考えは、間違っているのだろうか。今、心から自己反省しきり考えてみると、逆に恥ずかし

不動産取引・分譲売買・仲介・賃貸借
拓産グループ
株式会社 秀 拓
代表取締役 米原祥雅
埼玉県川越市市場町14-2 2F
TEL 049-233-1103 FAX 049-233-1104

セブン-イレブンのおいしいパン
株式会社 武蔵野フーズ
代表取締役会長 安田定明
http://www.ms-net.co.jp/ms-foods
パン本来のおいしさを追求した
12時間の「低温長時間発酵」

松本博法律事務所
弁護士 松本 博
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-2-17
トキヨビル4F
TEL 03(5833)3915
FAX 03(5833)3916

ふるさと鳥取ファンクラブ
鳥取県を楽しむ特典満載！
ぜひご入会ください
【会費】2年間 2,000円
http://www.kouhouren.jp/
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1-220 鳥取県庁内 TEL 0857-26-8374 FAX 0857-29-6621

◆3役と新入会員の 意見交換会が行われる◆

ここ数年、本会の会員数が減少傾向にあることと危惧の念を抱いた役員等は、4月より増強キャンペーンを開始した。

その効果も現われ、8月2日現在、事務局に寄せられた新会員の加入数が35名になることが判った。そこで、役員会では、盛夏の一刻、新入会員の方々をお招きして意見交換会を催すこととなった。

8月2日の当日、県人会本部がある都道府県会館の15階にある喫茶カナルに参集した新入会員は14名。迎える側は、八村会長はじめ3名の副会長と5名の常任幹事の方々、そして事務方は大塚本部長他3名の県人会担当からである。

はじめに、八村会長の歓迎の挨拶と乾杯があり、続いて小島(総務部会長)、金子(交流部会長)、本池(広報部会長)の挨拶があった。

各副会長より県人会の現状と活動状況が報告された。そのあと、新入会員一人一人の声を聞くこととなった。

トップに立ったのは、三朝町出身の松原洋平さん。たのしみ20代、「今一番の若輩と見えますが、実は本日婚約を取り決めた」との会に駆けつけました」と、めでたい一声。大山町出身の岡本健司さんは30代。倉吉東高出身という前原誠司さんは40代と、若手の加入は、誠に心強い。

代々が地元郵便局長で郵政グループに勤める吉田浩司さんは50代。「後期高齢者になりませんが、会長のお兄さん(八村輝夫元鳥取県商工会議所会頭)と同級仲間です」と言われたのは藤巻善男さん。

東京在住30年という宇田川博通さん(58歳)は、倉吉出身の深田佐夫さん(42歳)「古文書の研究と学校史の編纂に忙しかけています」と。

最後は、県内老舗書店今井グループで印刷部門の社長を務める田淵康成さん(58歳)「一月で鳥取一東京間を往復しています」と。

以上、多士済々がうち揃い、ビールのピッチャーが行き来するも、宴も盛り上がった。

新入会員を招待するようした集いは、幹事になって30年の方県人会では初めての試みと思え、特別参加の筆者は有意義な絆の会を実感した次第である。

(遠藤隆司)



▲一人ひとりのご挨拶

ゴルフ会が繰り加えられたのは北条町出身の斉尾誠治さん(64歳)「永田あおい女子プロの激励会で声を掛けられました」と、川口正夫さん(74歳)も趣味のゴルフがきっかけ。

「本県に戻って10年になります。こんな長い会があるとは知りませんでした」と言われた藤巻伸さん(70歳)は、日の丸産業の社長で、れっきとした現役。

安田寿吾さん(70歳)は、境高同窓会かしの会Bで、「老いても、人材を得るために入会しました」との挨拶を受けたというのは、曾頭町出身の岡田万生哉さん。もう一人、海澄組は倉吉出身の岡部正明さんで、「赤坂の武道館で剣道をやっています」と元氣印の弁。

千葉果成田高校日本文の教師を務めている倉吉出身の深田佐夫さん(42歳)「古文書の研究と学校史の編纂に忙しかけています」と。

最後は、県内老舗書店今井グループで印刷部門の社長を務める田淵康成さん(58歳)「一月で鳥取一東京間を往復しています」と。

以上、多士済々がうち揃い、ビールのピッチャーが行き来するも、宴も盛り上がった。

新入会員を招待するようした集いは、幹事になって30年の方県人会では初めての試みと思え、特別参加の筆者は有意義な絆の会を実感した次第である。

(遠藤隆司)

7月7日、今年は七夕の日に総会でした。日比谷公園は生憎の小雨まじりの天候でしたが、今年大学を卒業し声優を目指している新会員松本さん(女性)の司会で、会場は晴天でした。

まず、小泉会長の開会挨拶で始まり、議案の選出(安部新会長を推挙)、会則の変更、事業計画を満場一致で承認しました。

そして、歯科医師足立融(29期)さんの講演「一口から食べる」を視聴し、本部同窓会会長岡田空(19期)のご挨拶、その後、4月に就任された池田校長が境高校の現状をこまかくお話しして下さいました。そして、安部新会長(13期)の就任挨拶で総会は無事終了しました。

さて、懇親会が始まりました。「東京かしの会」では毎年当番期が決まっております。在京者にふるさとから応援が駆けつけ懇親会が進行し

同窓会の開催状況 (境高校かしの会)



ます、ここから司会は楠(28期)さんに替わり、「凶幟の白鬼」の衣装で鳥取県東京本部副部長から「国際まんが博覧会」の紹介、安倍境港市副市長(18期)から境港の現状報告、境港の「元気みなと商店街」山田会長(9期)から「お組み話を話そう」、当会面谷福間(中3期)の乾杯の音頭で、食事・歓談が始まりました。

今年も司葉子さんも出席していただきました。残念ながら6月28日に総会常連の小野ヤスシさんが逝去されたこと

舞台では29期代表の岡田さんの挨拶と29期製作のDVD上映「私たちの愛した境高校」合唱「上を向いて歩こう」などを披露していただきました。

突然の15期古坂さんの「境さんご節踊り」が割込み大変盛り上がりしました。

(中村仁史)

● 交流部会 ●

東京鳥取県人会 交流部会事業の紹介です

東京鳥取県人会交流部会は、11月24日(土)に上野、東京国立博物館において「東京国立博物館2大特別展鑑賞と饗を食す」を開催します。

「東京国立博物館2大特別展鑑賞」は、「日中国交正常化40周年 特別展「中国 王朝の至宝」」と、「古事記1300年 出雲大社大遷宮 特別展「出雲―聖地の至宝―」」の2大特別展を鑑賞するものです。「中国展」は、紀元前2000年から約3000年間の貴重な文化財でそのうち、約60%が国宝級の一級文物で、日本初公開の発掘品も見ることが出来る貴重な展覧会です。「出雲展」は、出雲大社の境内や荒神谷遺跡、加茂岩倉遺跡から出土した重要文化財・国宝などの貴重な文化財を通して、聖地・出雲を紹介する展覧会です。

鑑賞会については(7/4)

去る7月4日(水)、六本木にある国立新美術館において「大エルミタージュ美術館特別鑑賞会とデザイナーの夕べ」を開催しました。

当日は、初夏の暑い日にもかかわらず、50名強の参加をいただき、「大エルミタージュ美術館特別鑑賞会」および「ポー・ボキエー・ミューゼ」でのデザイナーを堪能しました。

「大エルミタージュ美術館特別鑑賞会」は、ロシアのエルミタージュ美術館が包蔵している16世紀から20世紀の間の西欧美術を代表するルーベック、レブランド、モネ、ルノワール、セザンヌ、マティス、ピカソら83作家の89作品を展示する、貴重な展覧会で、展覧会前には、鳥取市出身の南学芸課長に、熱い思いを語り合い、散会となりました。

(守谷 次明)



展覧会後のデザイナーは、フランス料理界の巨匠でミシュランの3つ星の常連、ポール・ボキエー氏が日本で初めてオープンしたブラッソリー、「ポー・ボキエー・ミューゼ」。素晴らしい料理をいただきながら、絵画の感想やふるさと鳥取への熱い思いを語り合い、散会となりました。

(守谷 次明)



訃報

小野ヤスシさん逝去

6月28日に鳥取県が生んだものでした。世界のエンターテイナー小野ヤスシさんが腎盂(じんう)癌を患われている頃は、地元のため亡くなりました(享年72歳)。

葬儀は青山斎場にて行われ、芸能界をはじめゴルフ、野球、相撲など多方面から千人を超える参列者が人柄をしのばせるものでした。

ドンキカルテットでテレビを賑わしている頃は、地元のため亡くなりました(享年72歳)。

また充分活躍出来る年齢で、残念でありませんが、これまでの功績を思い、ご冥福をお祈り申し上げます。

みずきパートナーズ法律事務所
弁護士 清水紀代志
(岩美町出身)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル6階
TEL 03-5220-4531
FAX 03-5220-4534

株式会社 チュウブ
代表取締役 大田 英二
〒103-0004 東京都中央区日本橋新町1-29-6
TEL 06-5940-8122

●水たき割烹 ●ご婚礼 ●各種宴会 ●ご法要
活作 JISAKU
●東京都中央区明石町14-19 ●電話3541-238104

好きな音楽を仕事に生かす
国立音楽院
理事長 新納重臣
〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-28-8
TEL 03-5431-8065(内)
URL: http://www.kma.co.jp

手打そば レストラン
茅ぶき屋根の かっぴや
店主 田中 克己 (柏倉町出身)
〒251-0001 埼玉県明野市上内間木796-6
TEL 048-456-1505
http://www.katsumiya.com

